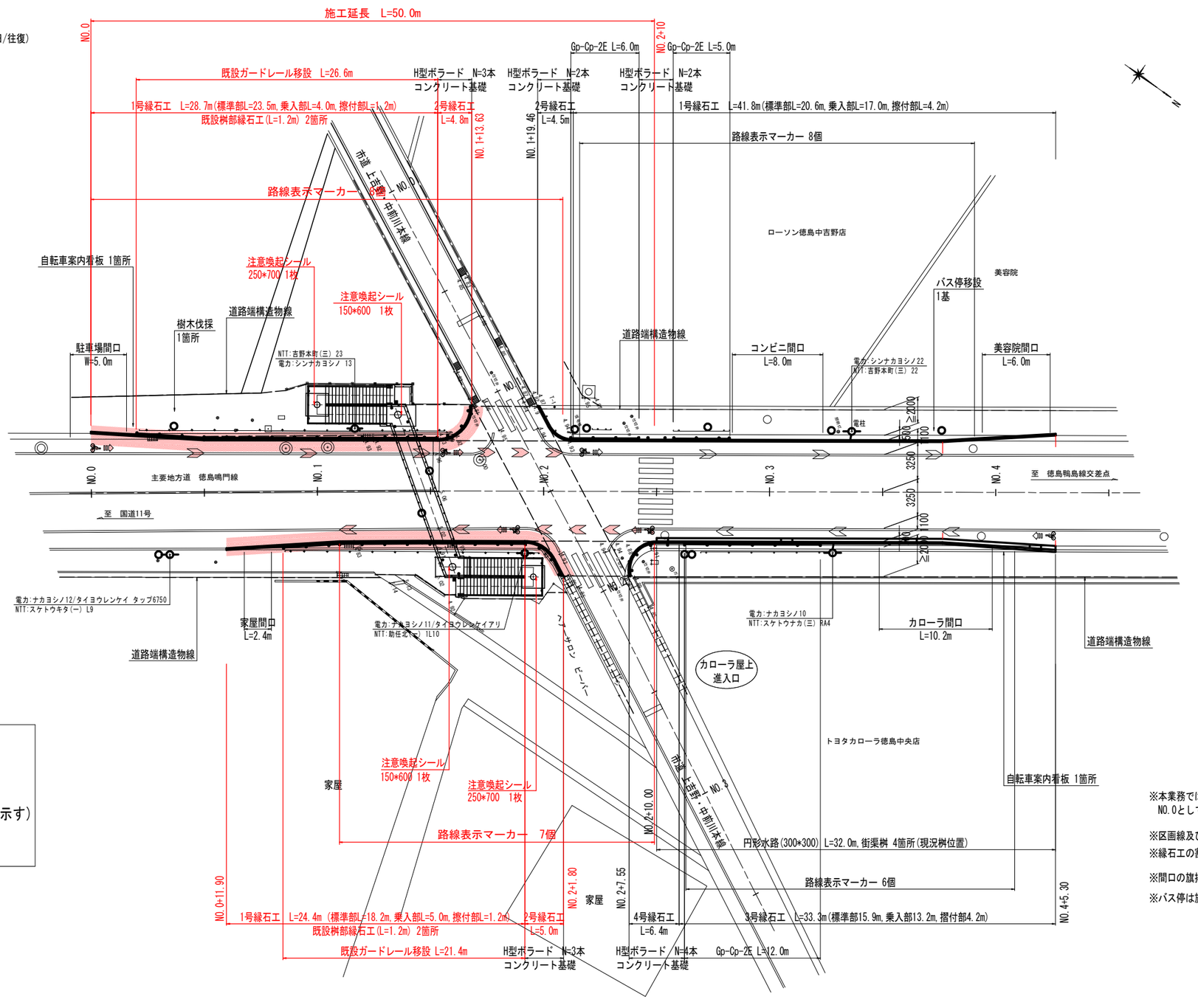
計画平面図　S=1:200

・道路の区分：第4種 第1級
・規制速度　：40 km/h

・交通量(H27.R3年度交通量センサス)
　平成27年 14329台/日/往復
　令和 3年 14700台/日/往復　(大型車 1390台/日/往復)



凡例
- ○：樹木
- ○：信号機
- ○：電柱(直線は電線方向を示す)
- ○：マンホール(下水道)

※本業務では、路線測量等は実施していないため、測点は起点側構造物位置をNO.0として、仮で設定したものである。

※区画線及び交通安全施設については、路面標示等計画図を参照とする。
※縁石工の割付等の詳細については、縁石工計画図を参照とする。

※間口の旗揚げについては、現況間口の位置と幅を示す。

※バス停は施工時に一時的に撤去し、拡幅後移設を行う。

当初設計図面

工事名	R7徳土 徳島鳴門線 徳・中吉野2 歩道工事 (担い手確保型)		
路線名等	徳島鳴門線		
工事箇所	徳島市中吉野町二丁目		
図面名	計画平面図		
縮尺	S-1:200	図面番号	1 / 6
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局〈徳島〉		

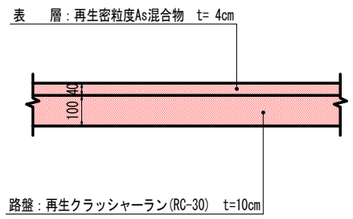
標準断面図

・道路の区分：第4種 第1級
・規制速度　：40 km/h

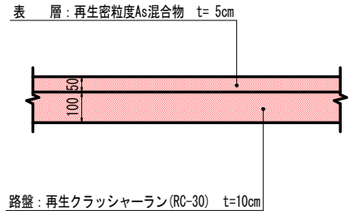
舗装構成

歩道舗装　S=1:10

一般部

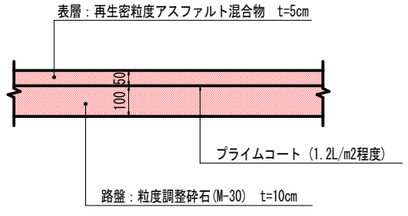


乗入部



車道舗装

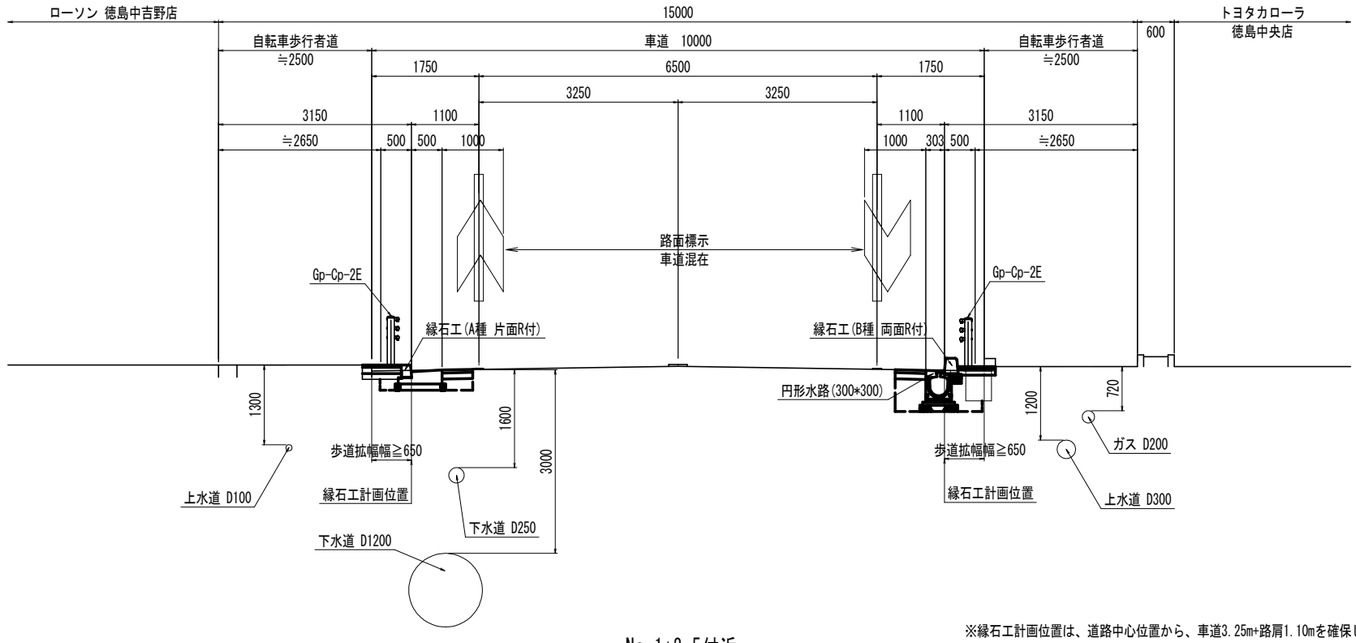
路肩舗装　S=1:10



断面図　S=1:50

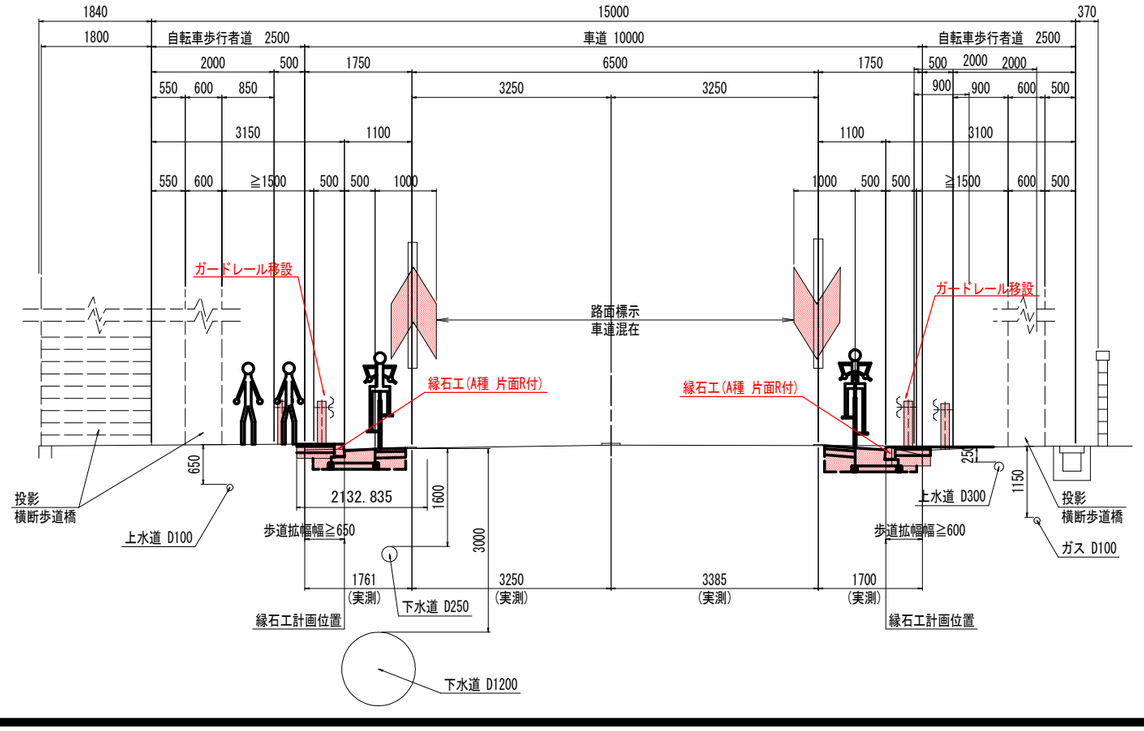
No.3付近　※平面図より作図

標準部



No.1+2.5付近

橋脚部



凡例
- ——　：計画寸法
- ——　：現況寸法

※縁石工計画位置は、道路中心位置から、車道3.25m+路肩1.10mを確保した位置とすること。

※歩道拡幅後、横断歩道橋橋脚部において、幅員W≧1500を確保すること。

※地下埋設物は、上下水道、ガスを確認。
上水道は試掘及び立会、ガスは立会の必要がある。

※右側上水道管の管径及び埋設位置については、
既存資料が古いため、他資料からの推定の値とする。

当初設計図面

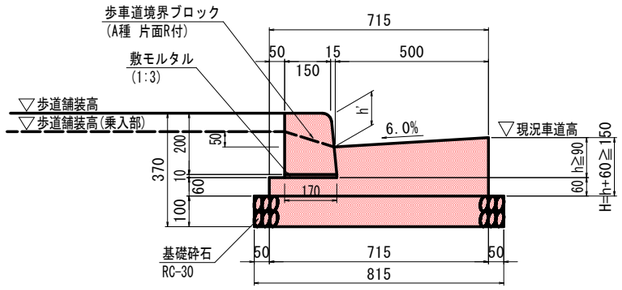
工事名	R7徳土 徳島鳴門線 徳・中吉野2 歩道工事（担い手確保型）		
路線名等	徳島鳴門線		
工事箇所	徳島市中吉野町二丁目		
図面名	標準断面図		
縮尺	図示	図面番号	2 / 6
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局〈徳島〉		

構造図（その1）

歩道部境界ブロック：A種片面R付

1号縁石工 S=1:10

標準用
破線：乗入用(段差0～50mm)



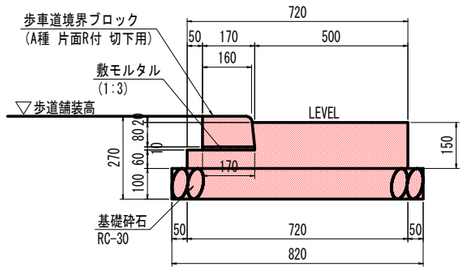
区間	延長(m)	h'(mm)	h(mm)	Co(m3)
区間①：起点左側	30.7	110	130	0.100
区間②：起点右側	26.4	50	190	0.131
区間③：終点左側	42.8	70	170	0.121

10.0m当り

名 称	規 格	数 量
コンクリート	18-8-25	数量計算書参照 m3
型枠	一般小型構造物	h+0.120 m2
敷モルタル	1:3	0.017 m3
基礎砕石	RC-30	8.150 m2
境界ブロック	A種 片面R付	16.5 個

2号縁石工 S=1:10

切下用

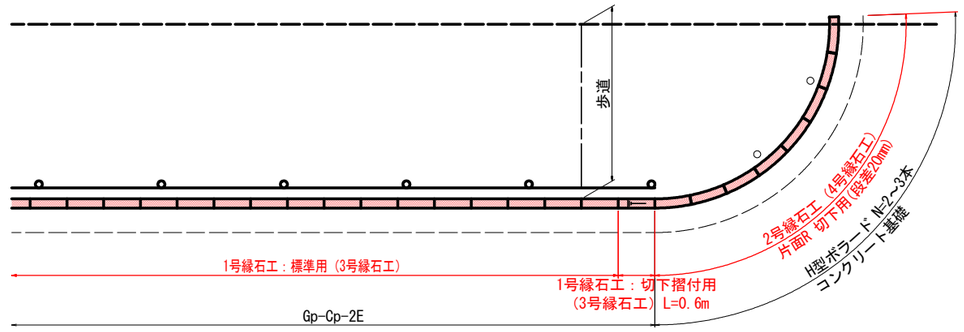


10.0m当り

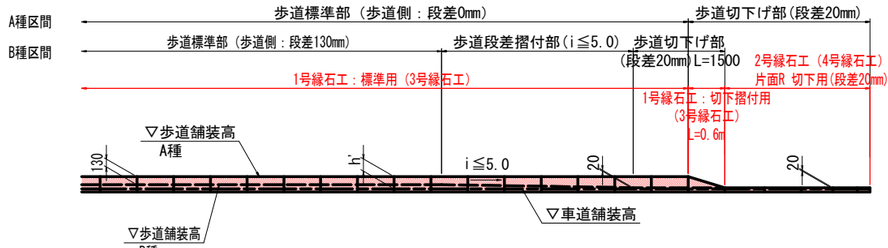
名 称	規 格	数 量
コンクリート	18-8-25	0.882 m3
型枠	一般小型構造物	2.100 m2
敷モルタル	1:3	0.017 m3
基礎砕石	RC-30	8.200 m2
境界ブロック	A種片面R付 切下用	16.5 個

縁石交差点切下部詳細図 S=1:50

平 面 図



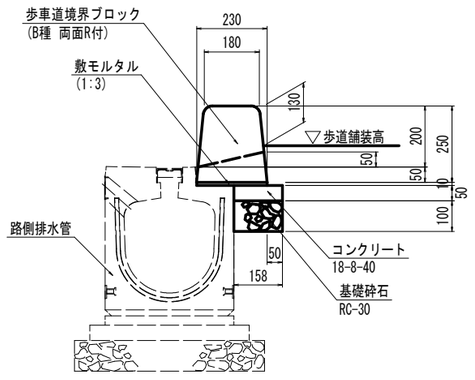
側 面 図



歩道部境界ブロック：B種

3号縁石工 S=1:10

標準用(B種 両面R付)
破線：乗入用(段差0～50mm)



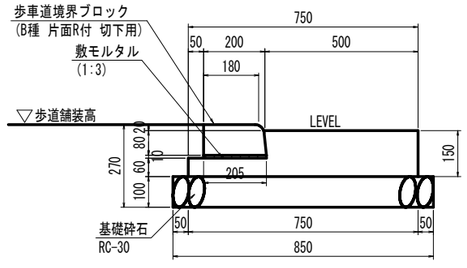
※4.0mに一箇所水抜き用を設置すること。

10.0m当り

名 称	規 格	数 量
コンクリート	18-8-25	0.079 m3
型枠	一般小型構造物	0.500 m2
敷モルタル	1:3	0.023 m3
基礎砕石	RC-30	1.580 m2
境界ブロック	B種 両面R付	14.0 個
境界ブロック	B種 両面R付 水抜き	2.5 個

4号縁石工 S=1:10

切下用
(B種 片面R付)

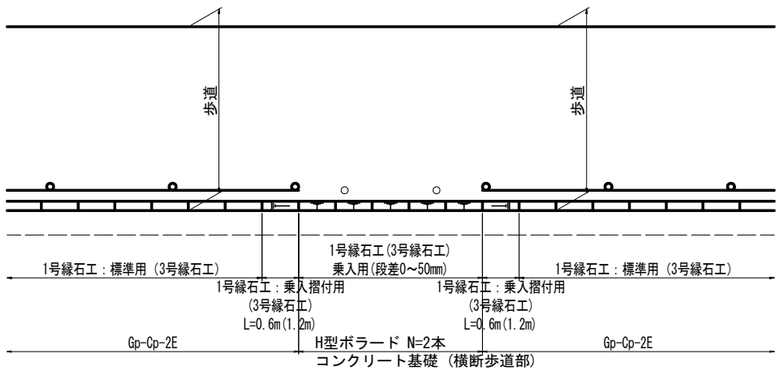


10.0m当り

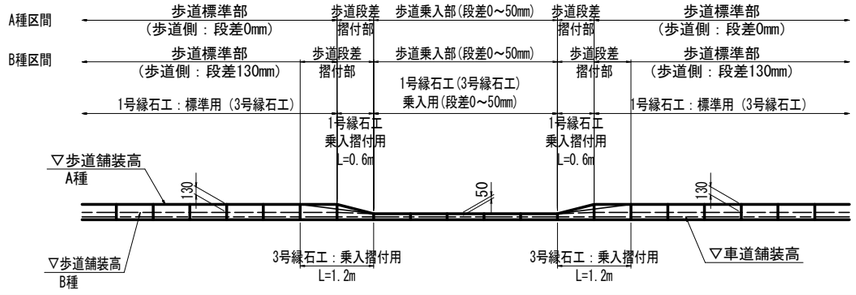
名 称	規 格	数 量
コンクリート	18-8-25	0.900 m3
型枠	一般小型構造物	2.100 m2
敷モルタル	1:3	0.021 m3
基礎砕石	RC-30	8.500 m2
境界ブロック	B種片面R付 切下用	16.5 個

縁石乗入部詳細図 S=1:50

平 面 図



側 面 図



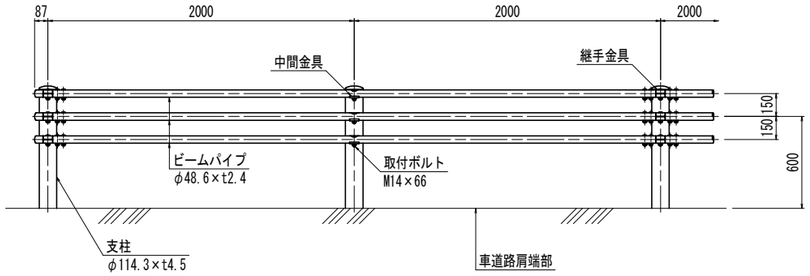
当初設計図面

工事名	R7徳土 徳島鳴門線 徳・中吉野2 歩道工事（担い手確保型）		
路線名等	徳島鳴門線		
工事箇所	徳島市中吉野町二丁目		
図面名	構造図(その1)		
縮尺	図示	図面番号	3 / 6
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局〈徳島〉		

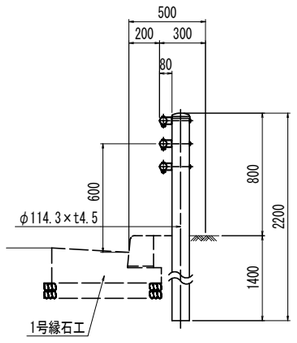
構造図(その2)

Gp-Cp-2E
(歩車道境界用)

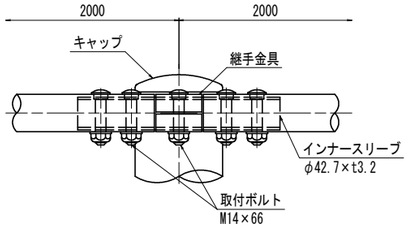
姿図　S=1:20

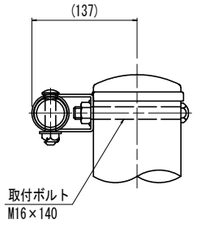


側面図　S=1:20

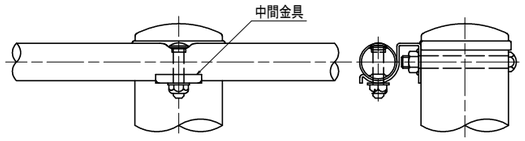


継手部詳細図　S=1:5

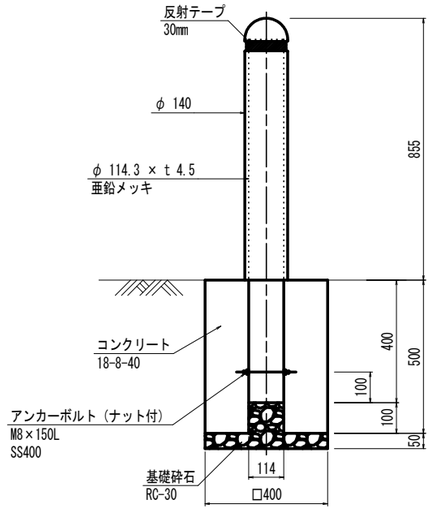




中間部詳細図　S=1:5



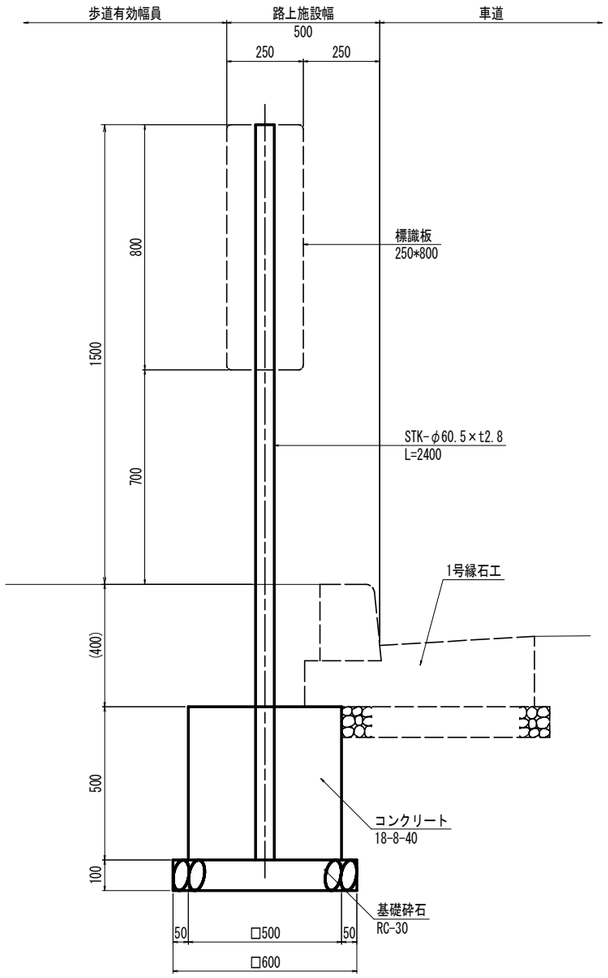
H型ボラード　S=1:10
(コンクリート基礎)



1.0箇所当り

名　称	規　格	数　量
本体	φ140,合成ゴム	1.0　本
支柱	φ114.3×t4.5,亜鉛めっき	1.0　本
コンクリート	18-8-40	0.075　m3
基礎砕石	t=50mm,RC-30	0.160　m2

自転車案内看板　S=1:10

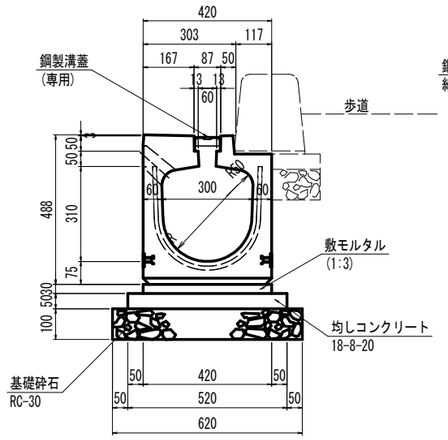


1.0箇所当り

名　称	規　格	数　量
標識板	250*800	1.0　枚
標識柱	STK-φ60.5×t2.8,L=2400,溶融亜鉛めっき	1.0　基
コンクリート	18-8-40	0.124　m3
型枠	一般小型構造物	1.000　m2
基礎砕石	t=100mm,RC-30	0.360　m2

※縁石工コンクリート部の下方に、支柱コンクリート基礎を設置

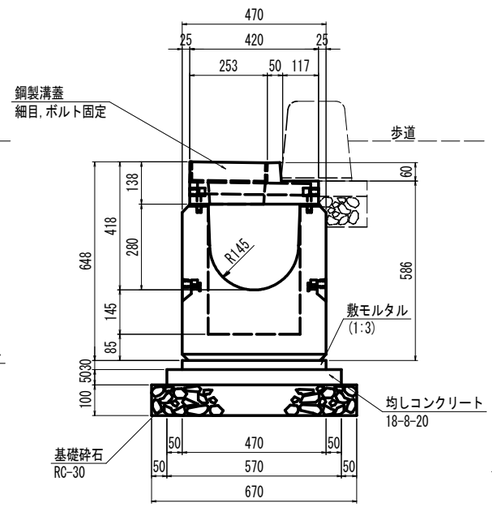
円形水路　S=1:10
(300*300)



10.0m当り

名　称	規　格	数　量
円形水路	300*300 L=2.0m	5.000　個
敷モルタル	1:3	0.126　m3
均しコンクリート	18-8-20	0.260　m3
同上型枠	均しコン型枠	1.000　m2
基礎砕石	RC-30	6.200　m2

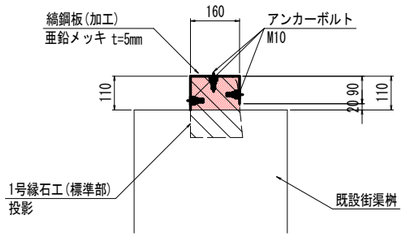
街渠桝　S=1:10
(300*300)



1.0基当り

名　称	規　格	数　量
街渠桝	300*300 L=1.0m	1.000　個
敷モルタル	1:3	0.014　m3
均しコンクリート	18-8-20	0.029　m3
同上型枠	均しコン型枠	0.100　m2
基礎砕石	RC-30	0.670　m2

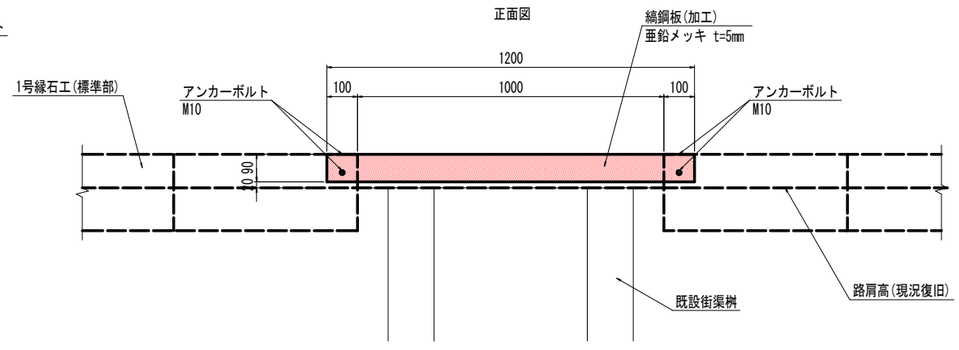
既設桝部縁石工　S=1:10
(参考図)



1.0箇所当り

名　称	規　格	数　量
縞鋼板	亜鉛めっき t=5mm	0.432　m2
アンカーボルト	M10	6　本

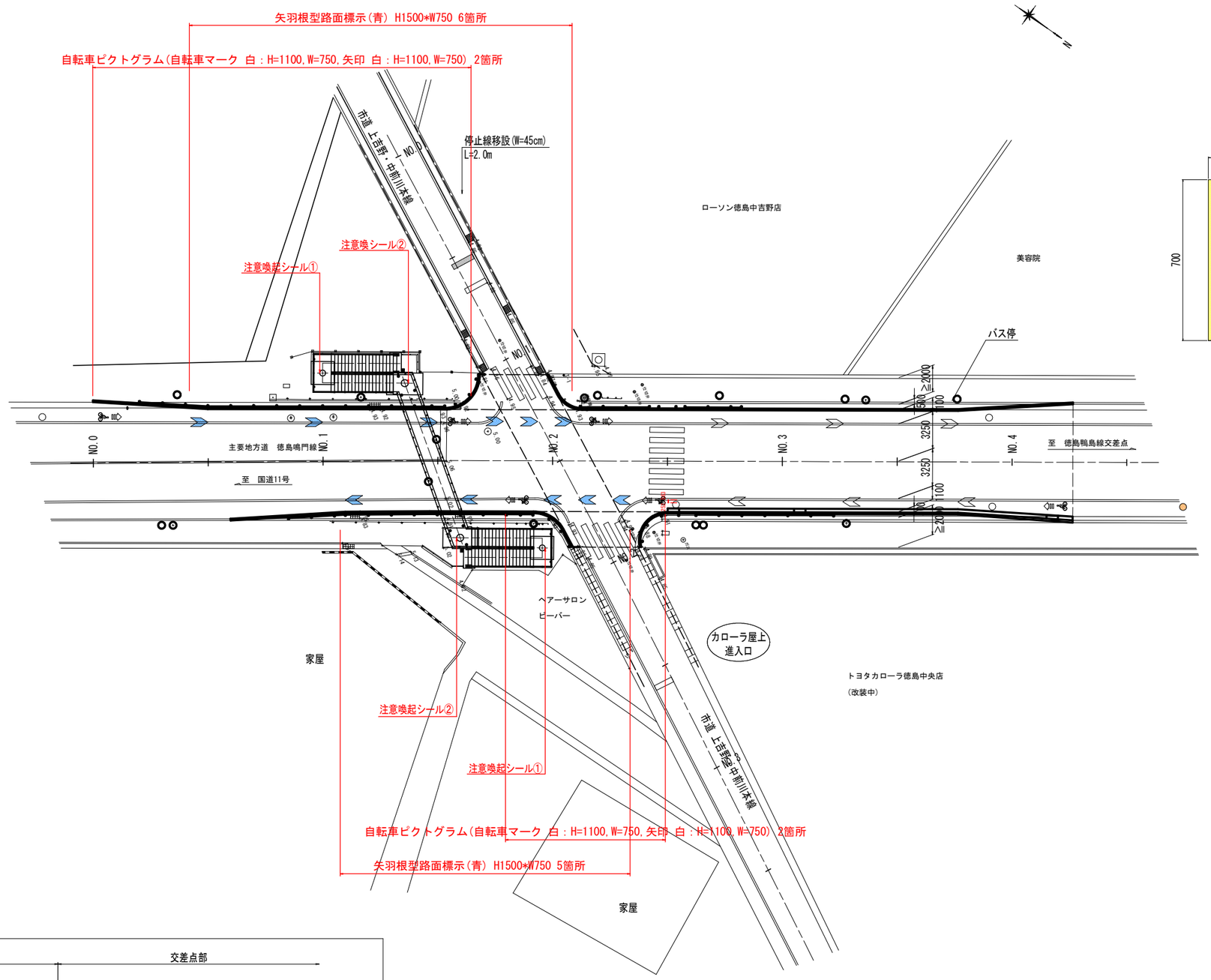
※既設街渠桝部における1号縁石工(標準部)計画箇所に設置。
※排水のため、現況桝位置から20mm程度の隙間を設けること。
※現況桝の高さ及び位置によって調整が必要である。



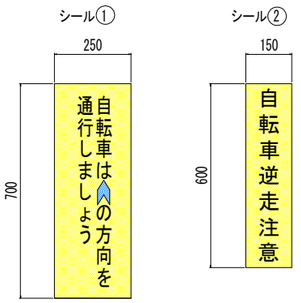
当初設計図面

工事名	R7徳土 徳島鳴門線 徳・中吉野2 歩道工事 (担い手確保型)		
路線名等	徳島鳴門線		
工事箇所	徳島市中吉野町二丁目		
図面名	構造図(その2)		
縮尺	図示	図面番号	4 / 6
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局〈徳島〉		

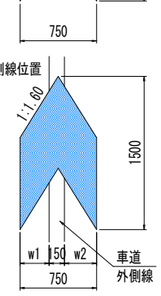
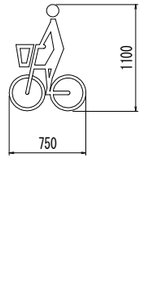
路面標示等計画図　S=1:200



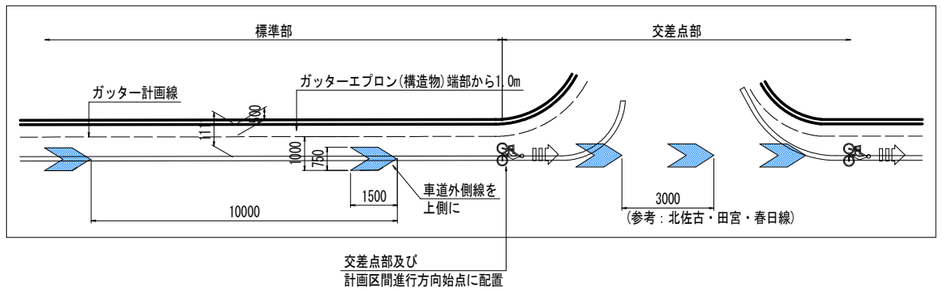
注意喚起シール　S=1:10



自転車案内表示　S=1:30

矢羽根型路面標示	自転車ピクトグラム（矢印+自転車マーク）
標準部 	
11箇所 （右側：5箇所, 左側6箇所）	4箇所 （右側：2箇所, 左側2箇所）

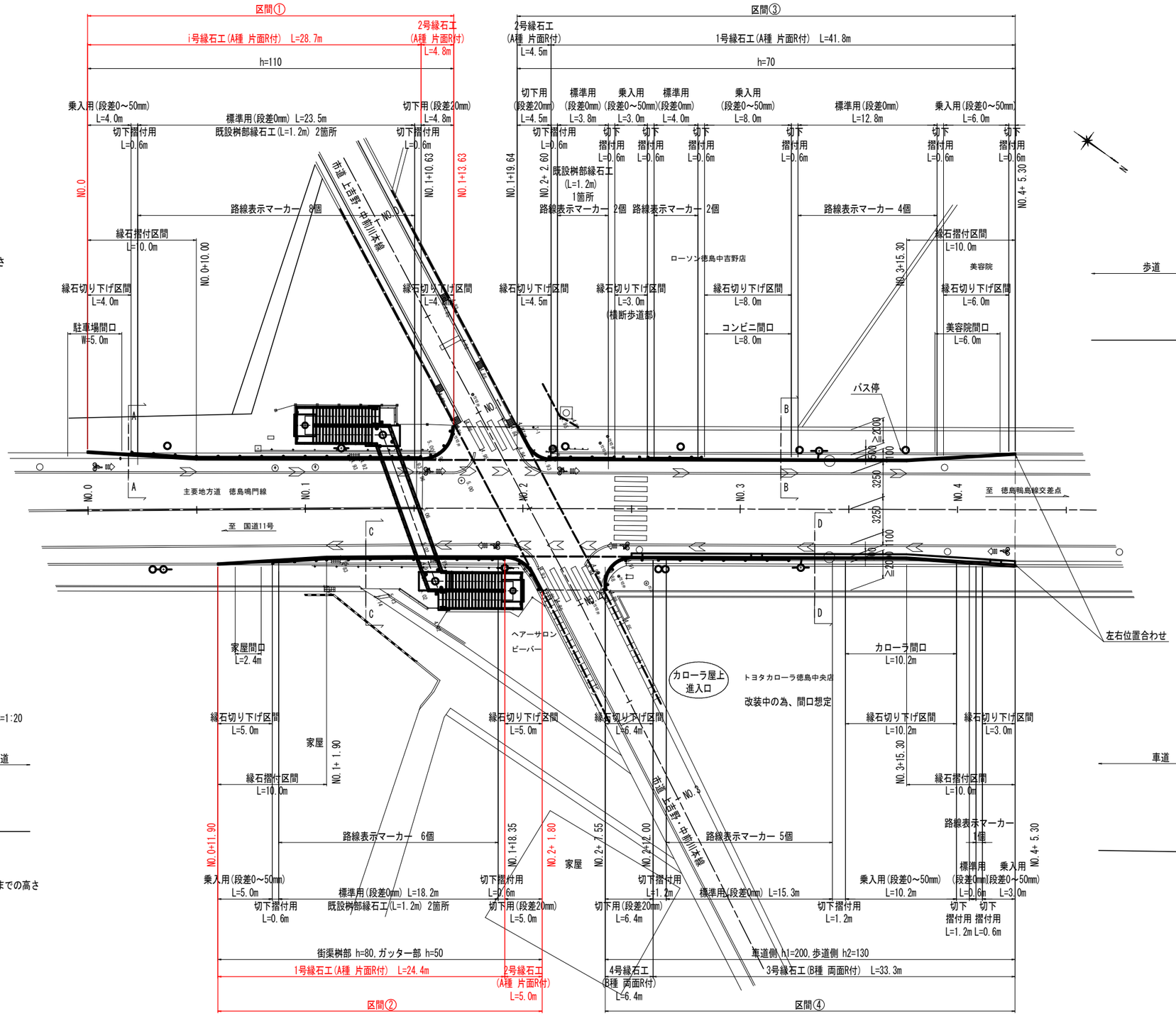
自転車案内表示



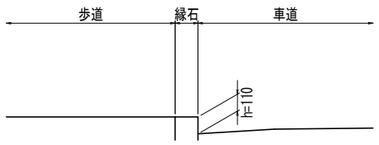
当初設計図面

工事名	R7徳土 徳島鳴門線 徳・中吉野2 歩道工事（担い手確保型）		
路線名等	徳島鳴門線		
工事箇所	徳島市中吉野町二丁目		
図面名	路面標示等計画図		
縮尺	図示	図面番号	5 / 6
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局〈徳島〉		

縁石工計画図　S=1:200

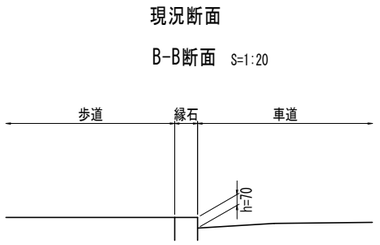


現況断面
A-A断面　S=1:20



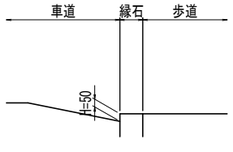
※h:現況ガッターから縁石天端までの高さ

現況断面
B-B断面　S=1:20



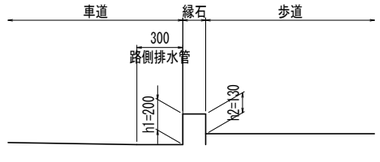
※h:現況ガッターから縁石天端までの高さ

現況断面
C-C断面　S=1:20
ガッター部



※h:現況ガッターから縁石天端までの高さ

現況断面
D-D断面　S=1:20



※h1,h2:現況ガッターから縁石天端までの高さ

※標準幅員部から、縁石摺付区間L=10.0mを設けて、現況縁石位置への摺り付けを行う。

※路線表示マーカーは4.0mに1箇所配置を行う。

※間口計画位置は、現況間口位置を計画位置とする。

当初設計図面

工事名	R7徳土 徳島鳴門線 徳・中吉野2 歩道工事（担い手確保型）		
路線名等	徳島鳴門線		
工事箇所	徳島市中吉野町二丁目		
図面名	縁石工計画図		
縮尺	図示	図面番号	6 / 6
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局〈徳島〉		